



Graduate School of
Literature & Human Sciences
Osaka City University

2019

International School Lecture & Seminar Series

No.46

文学研究科
インターナショナルスクール
日常化プログラム

No.46

日時：2019年

11月26日(火)

17:00 - 19:00

会場：大阪市立大学
学術情報総合センター
1F 文化交流室

使用言語：

ドイツ語、英語

主催：地理学専修

共催：
インターナショナルスクール

後援：
ゲーテ・インスティトゥート
大阪・京都

11月26日(火)

BORDERS AND PLAYWRITING

EARCAG 4TH WORKSHOP ON THE
GEOPOLITICAL ECONOMY OF EAST
ASIAN DEVELOPMENTALISM: SPECIAL
GUEST LECTURE

講演

アミール

Ibrahim Amir 氏 劇作家



逐次通訳 ヨハネス・キーナー氏 (埼玉大学)

国家なき人びとは、どのように生活のなかでボーダーに遭遇し、対応しているのだろうか。本プログラムでは、劇作家で医者でもあるアミール氏（1984年生まれのクルド人、オーストリア在住）の講演を通して、トランスボーダーと劇作という観点からヨーロッパの移民・難民の文化的描写について考察する。

シリア・アレッポ市のクルド人家庭で生まれ育った彼は、ウィーンに渡って医学部を卒業するものの、ドイツ語で劇作を始める。彼の作品は難民や社会統合政策、ドイツの一時的難民歓迎ムードなど、ドイツ語圏社会でのボーダーをめぐるコンフリクトを滑稽に描いたものとして高い評価を得ている。

本講演はオルタナティブ地理学東アジア地域会議（EARCAG）第4回ジオポリティカル・エコノミー国際ワークショップの特別セッションとして行われます。詳しくは<https://sites.google.com/view/earcag-gpe2019/>をご覧ください。

どなたでもご参加いただけます

インターナショナルスクール
事務局

(06) 6605-3114

<https://www.lit.osaka-cu.ac.jp/IS/ja/>